



I-siteなんば = 知的活動を展開する「場(サイト)」

大学の重要なミッションは学問研究にあり、その成果を社会に還元してゆくことも大きな使命です。これを実現するためには、国境を越えた国・社会との関わりを深め、教職員・学生・卒業生や地域の人々との交流によって、多様性のある場をつくることが必要です。

Integrate
Inspire
Initiate

「I-siteなんば」は、大学が発信するさまざまな情報を「integrate」することで、そこに集う人々がお互いに「inspire」し合い、新しいものを「initiate」する豊かな場です。

ここには、従来の公開講座だけでなく、貸会議室だけでなく…研究所や大学院があり、まちライブラリー@大阪府立大学があります。「I-siteなんば」は、多くの人々が集まって学ぶ、知の拠点。文化を創ってゆくサイト(場所)です。

沿革

- ・2012年2月南海電鉄株式会社と地域活性化連携に関する協定を締結
- ・2013年4月1日 南海なんば第1ビル2F/3Fを賃借し、開館
2F:公開講座、学術集会、授業、同窓会など多目的利用を考慮した貸会議室群
- ・3F:経済学研究科大学院の一部、観光産業戦略研究所、校友サロン、まちライブラリーなど、都心サテライトとしてのコンセプト実現に向けた新機能を集約
- ・2017年4月1日 経済学研究科サテライト教室集約に伴い、3F機能レイアウトを一部変更し、リニューアルスタート



■大学院 経済学研究科 サテライト教室

大阪府立大学大学院経済学研究科はなんばにサテライト教室を開設し、社会人を対象に平日夜間及び土曜日に授業を行っています。開講科目は実学中心で、経営学・法学・経済学を一か所で、総合的、学際的に学び、研究することが可能です。また公共政策学習プログラムは、公務員の皆様の「政策力」強化にも有効です。

■研究所 21世紀科学研究センター 観光産業戦略研究所

新たなツーリズムの動向を受けつつ、観光関連の諸団体、NPOや自治体の関連組織を窓口とする産学官連携や地域連携型の研究開発を実施します。また、観光統計の整備・分析、ケーススタディの蓄積なども行ないます。観光学の理論的研究とともに、実学としての観光学の実証研究や実務への応用を積極的に推進します。

■校友サロン

卒業生のための“くつろぎと語らいの空間”
同窓会の会合に、懐かしい友人との語らいにご利用いただけるサロンは、新たな出会いや交流が生まれる場所でもあります。



■カンファレンスルーム セミナールーム

新たな生涯教育の拠点として、地域や企業の方々を対象にした公開講座やシンポジウムを開催し、地域と大学、大学と企業の知的交流・触発の場として活用します。250名収容可能な大会議室から少人数用のミーティングルームまで、各種セミナー・会議等、用途に合わせて利用できるカンファレンスルームを設置しています。

■まちライブラリー@大阪府立大学

従来の図書館とは違うライブラリーをつくります。「本」の集積ではなく、「本を持ち寄る人」や「本にまつわる人」を題材に。卒業生・教職員・大学院生はもとより、府民・地域の方々が集まり、みんなで育てる会員制のライブラリーです。